

くるめし
こ
し
え
ん

久留米市における子ども支援のとりくみ

子どもの権利等啓発事業

市立小学校の4年生を対象に、CAPプログラムを活用し、子ども自らの相談する力、SOSを発信する力を育てています。

子どもが自らの権利や相談方法、相談先などをワークショップを通して学ぶ内容となっています。



子ども食堂

久留米市内には、地域や民間団体などによる子ども食堂が10か所以上あり、それぞれ地域の実情に応じて運営されています。

子どもや保護者、地域の方等を対象に無料または低額で食事を提供する食堂で、地域とのつながりの場にもなっています。

子育て支援拠点施設（市内11か所）

地域子育て支援センター、子育て交流プラザくるるん、児童センターでは、親子で自由に遊ぶ場があり、子育てに関する講座を受けることができます。
就学前の子育てに関する相談や子育てサークルの育成支援を行っているところもあります。



校区・地域子育てサロン

小学校区・地域ごとに月1～2回、校区コミュニティセンター等で就学前の児童および保護者を対象とした子育てサロンを実施しています。親子の交流、保護者同士の情報交換、子育て講座、誕生会、季節の催し等が行われています。参加申込みは不要です。

子どもの福祉や児童虐待の相談・通告

久留米市家庭子ども相談課や福岡県久留米児童相談所では、子どもの福祉や児童虐待の相談・通告に対応しています。

久留米市における子ども支援のとりくみ

『久留米市子ども支援ガイドブック』

子育て支援、保育、教育に関する支援者が、子どもの支援に関する情報を把握し、各家庭や子どもの状況に応じて制度の紹介や相談機関へつなぐなど、具体的な支援に活用する資料です。

(主な掲載内容)

- 子どもの育ちや学びの段階、各家庭の状況に応じて利用できる支援制度
- 就学支援制度や、修学に必要な費用、具体的な支援制度
- 支援に関する諸制度や関係機関の相談窓口



子どもに関する相談ダイヤル

【児童相談所全国共通ダイヤル】

189（イチハヤク）：虐待を受けたと思われる子どもを見つけた時や、ご自身が出産や子育てに悩んだ時はご連絡ください。
匿名可能。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。



【久留米市家庭子ども相談課】

0942-30-9208

子育てに悩んだ時や、周りに心配なお子さんがいることに気づいたら、迷わずご連絡ください。

【久留米市ヤングケアラー相談・支援窓口】

18歳までのヤングケアラーに関する相談を、社会福祉士、保育士、教職者などの相談員がお受けします。

大人が担うような家族のケアを引き受け、年齢に見合わない責任や負担が生じている場合にはご相談ください。

○こども子育てサポートセンター：0942-30-9302

○子ども専用フリーダイヤル（結らいん）：0120-870-552